

認知症作業療法 活動報告 (概要)

県士会員の要望があった事例検討を3圏域での開催に向け実施した。うち1回ナイトセミナーとして開催し好評を得た。また、事例検討会と抱き合わせで地元で活躍中の人材に講演を依頼し、今後のネットワーク構築のためにも、アピールの機会として取り組んでいく。推進委員も1名新たに加入し、5名態勢で取り組んでいる。今後も増員を図り3圏域での開催を目指す。

平成30年度第2回事例検討会

昨年の認知症作業療法推進委員会による活動報告、医療・福祉の分野から地元の会員3名による事例検討、地域包括支援センター班長による地元の認知症初期集中支援チームの概要と活動状況を報告していただいた。事例検討では施設の概要や職場での取り組みを入れてもらうことで、希薄になりつつある横のつながりの充実も狙いとしている。いずれは参加者からの声掛けで勉強会が立ち上がり、盛り上がっていくのが理想である。

また、秋田県の広大な面積や交通の便を踏まえ、県士会員の負担を考慮し県南・中央・県北の3圏域にて事例検討会を開催予定である。



令和元年度第1回事例検討会

令和元年6月14日の平日夜間（18：30～20：00）に開催し、参加者は24名。第1回事例検討会で実施したアンケートで要望が多かった平日の夜に実施した。内容は認知症サポーター養成講座と事例検討会である。アンケートでの要望が多かった平日夜の開催では、推進委員の「やってみる」の精神で実施している。その後のアンケートでもナイトセミナーは参加しやすいとの意見が聞かれ、県士会員のニーズに対応していきたい。



アップデート研修

昨年より、4人認知症作業療法推進委員が講師となり、より内容の充実した講習となった。今年度は未受講の県士会員や新人に対しての講習で、参加者は9名。昨年度までの修了者183名で現在までの修了者は192名である。秋田県士会は会員が約550名で参加率は30%を超えている。毎年新人が入会されるため、今後もアップデート(基礎)研修を継続していく予定である。



今後の展開

- ・事例検討の3圏域での開催
- ・アップデート(基礎)研修を行う
- ・アップデート研修の中級・上級開催に向けた検討および取り組み